

方策 12. 感染症対策の徹底

換気システムの導入、時差出勤やテレワーク等の体制を持続可能にすることで、新型コロナウイルス以外の、例えばインフルエンザ等にも関係する感染症対策を継続する。

SDGs 達成へ向けた留意点

1. 感染症対策に関するガイドラインを徹底する：BCP に大規模な感染症の発生に対する項目を追加するなど、危機管理能力を強化する
2. 判断基準（ランク付け等）の導入：感染症対策を考慮した調達基準整備など
3. 感染症対策を徹底するために、当面は使い捨てプラスチックの使用が増加することが想定される。そのため、バイオマス起源のプラスチックやリサイクルプラスチックの導入等、代替策を検討する必要がある。

達成に貢献する主なターゲット

- 3.1（妊産婦死亡率の改善）
- 3.2（新生児と5歳未満児の防ぐことができる死亡の撲滅）
- 8.10（国内の金融機関の能力強化）
- 9.1（持続可能でレジリエントなインフラの開発）
- 11.2（安全で手頃な価格の使いやすく持続可能な輸送システムの利用）
- 12.7（持続可能な公共調達）
- 14.1（あらゆる種類の海洋汚染の防止と大幅な削減）